

の影響があったものと考えられます。

8月3日には、第3次安倍再改造内閣が発足しました。安倍首相は、『経済政策アベノミクスをさらに強力に押し進め、デフレからの脱却速度を最大限まで引き上げていく』と述べました。環太平洋連携協定(TPP)や地方創生など課題は山積しておりますが、アベノミクスに対しては、恩恵が地方でも享受できるよう実行することを期待します。

熊本地震での被災市町村への職員派遣につきましては、9月1日より職員を熊本市に派遣することを決定しました。総勢6名を交代させながら10月中旬まで派遣を継続する予定です。被災地で学ぶ貴重な経験を職員間で共有し、今後の活動に活かしていきたいと考えています。」と述べた後、主要な課題について報告しました。(内容はあらしです)

橋詰壽人市長は、9月9日開会の第392回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「リオデジャネイロ五輪は、日本時間の8月22日、17日間の日程を終えて閉幕しました。日本は、金メダル12個を含め、史上最多の41個のメダルを獲得し、2020年の東京五輪へ向け、大きな弾みとなりました。閉会式では、東京都の小池知事が五輪旗を引き継ぎ、安倍首相もセレモニーに登場するなど、次期開催地の東京都をPRしました。

7月10日、参議院選挙が実施されました。今回の選挙から、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられ、また、高知県では徳島県との合区による選挙となりました。選挙区の投票率は、高知県は全国最下位の45.52%、南国市は41.78%の投票率でありました。高知県での投票率の低さ、また、前回参議院選挙より無効票が6割増えたという結果には、徳島県との合区

財政状況

平成27年度決算

平成27年度普通会計の決算状況は、庁舎耐震改修事業費などの単独事業費の減により、歳入歳出ともに減額しました。歳入総額は対前年度比6千678万3千円、0.3%減の210億9千862万1千円、歳出総額は対前年度比2億1千588万2千円、1.1%減の202億9千483万9千円で、実質収支は5億4千689万6千円の黒字となりました。

地方債借入残高は、平成27年度末で約180億円となり、対前年度比約1億2千万円、0.7%の減となりました。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は87.6%で対前年度比24ポイントの減となり、公債費負担の健全度を示す実質公債費比率は、10.0%で対前年度比2.0ポイントの減と、公債費の減少に伴い改善されました。

本年度の普通交付税は、対前年度比1億9千332万1千円、5.1%の減となり、臨時財政対策債も1億8千575万1千円、21.9%の減となるため、合計では3億7千907万2千円の大幅な減となりました。

今後の財政見通しは、景気回復の状況や億総活躍社会の実現に向けて未来への投資を実現する経済対策による地方財政への影響など予測が難しいところですが、行政改革大綱や中期財政収支ビジョ

ンなどに基づき、引き続き健全な財政運営の確立に努めます。

市税徴収実績 前年度実績を下回る

平成27年度の市税徴収実績は、徴収額58億9千148万円、徴収率96.50%で、前年度実績と比較し、徴収率は0.31ポイント上回りましたが、徴収実績は固定資産税の評価替えや税率の引下げ及び法人税収の伸び悩みに起因する法人市民税の減収などにより、2億1千643万円下回っています。

平成27年度課税と滞納繰越の徴収率は、現年度課税徴収率は98.77%で前年度を0.03ポイント、滞納繰越徴収率は37.08%で前年度を6.26ポイント下回りました。この要因は、南国・香南・香美租税債権管理機構との連携により滞納整理を進めてきた結果、滞納繰越額が縮小したことによるものと考えられます。

電子お薬手帳事業

市民の服薬情報をスマートフォンやパソコンで管理することができ「電子お薬手帳事業」に取り組みむことになりました。これは、本格運用に向けて作業を進めている「母子健康情報サービス」に続き、市民の健康管理に役立てていくためのサービスで、国の情報通信技術利活用事業費補助金交付事業として実施します。

健康づくり

南国市健康ポイント事業

9月から高知県で始まりました「高知家健康パスポート事業」に合わせ、パスポートを取得した方を対象に「南国市健康ポイント事業」を開始しました。特定健診やがん検診などの受診や健康づくりに関するイベントへの参加、または自主的な健康づくりへの取り組みに対し交付されたポイントをパス

ポートに貯めることで賞品が当たる仕組みとなっています。

子育て支援

妊婦歯科検診事業

平成26年4月より実施していた妊婦無料歯科健診は、8月1日からは県が実施する「妊婦歯科健診事業」に引き継がれました。今後は、高知県内の県歯科医師会所属の歯科医療機関であればどこでも無料で妊娠中に1回受診できることになりました。

児童扶養手当

児童扶養手当法が一部改正され、ひとり親世帯について、8月分より、第2子の加算額及び第3子以降の加算額が増額されました。経済的に厳しい状況にあるひとり親世帯への手立てであり、それぞれの家庭の所得に応じて加算額を決定することになります。

放課後児童クラブ

大篠小学校放課後児童クラブの施設整備工事を10月から開始し、年度末には完成する予定です。これにより、大篠小学校放課後児童クラブは、現在合計で約130人の受入を行っていますが、来年度からは約180人の受入が可能となる

計画です。

ごみのポイ捨て防止条例 犬のふん放置も禁止行為へ

ごみのポイ捨てについては、「南国市ごみのポイ捨て防止条例」にて禁止していますが、散歩中の犬のふんの放置については、禁止する定めがありませんでした。このことについて、ごみのポイ捨て同様に禁止行為と定めるため、関連議案を本議会に上程しています。

農家レストラン

高校生レストランを実施

8月9日、道の駅南国風良里において、農家レストランまほろば畑との連携のもと、高知農業高校生による「高校生レストラン」が初めて営業されました。3回入れ替え、各回60名の定員で予約を受け付けたところ、早々に予約完売するなど盛況で、来店のお客様には大好評をいただきました。

中心市街地活性化

(株)海洋堂と連携協定を締結

中心市街地の活性化については、南国市中心市街地活性化推進協議会で、昨年度作成されました「ごめんまち将来像プラン」に基づき、フィギュアメーカーの株式会社

住宅耐震化促進事業

8月で昨年度実績に迫る 申込件数

住宅耐震化促進事業の平成28年度の事業実施状況は、8月1日現在で耐震診断の申込み件数は102棟で、昨年度の実績件数106棟に迫っています。そのうち、耐震診断を実施した住宅が39棟、耐震工事に至った住宅が31棟となっています。引き続き、啓発活動を行うなど、南海トラフ地震対策として、住宅の耐震化に取り組んでいきます。

立地適正化計画

南国市都市再生協議会を 設置

都市計画については、立地適正化計画の策定に向けて、民間委員を含む南国市都市再生協議会を設置し、8月19日に第1回目の協議会が開催されました。本年度内にあと3回協議会が開催される

予定で、その意見を踏まえて都市機能誘導区域を設定する計画です。

篠原土地区画整理事業

仮換地計画の変更手続きへ

本年3月の仮換地計画案の縦覧で、地権者の方から提出された5件の意見書について、6月の土地区画整理審議会での審査の結果、3件の意見を採択して仮換地計画案の一部を変更することとしました。7月22日から仮換地計画案の変更箇所について再縦覧を行いました。変更箇所についての意見書の提出はありませんでした。

従いまして、これから年末にかけて仮換地計画の内容等を事業計画に反映させるための事業計画の変更手続きを進め、本年度末には仮換地計画に法的な効力を与える手続きとなる仮換地指定の手続きを行う予定です。

臨時福祉給付金

9月から申請受付開始

平成27年度の臨時福祉給付金対象者のうち65歳以上を対象に3万円を支給する「年金生活者等支援臨時福祉給付金」は、8月31日で申請受付を終了しました。

9月からは平成28年度の臨時福祉給付金及び障害遺族年金受

地域防災力の強化推進 消防団員の処遇改善

本年4月に発生しました「平成28年熊本地震」では、孤立地域等において消防団員が安否確認や救助資機材を活用して倒壊家屋等から50名を超える要救助者を救出したという活動も報告され、本市でも、消防団員の士気の高揚、救助救出訓練を重ねて、地域防災力の強化を推進するために、消防団員の処遇改善に関する条例案を上程しています。

全国中学校総体

柔道男子個人66キログ級で3位、 競泳女子200メートル平泳ぎで3位

柔道男子個人66キログ級で香長中学校3年の溝依郁人さんが3位、競泳女子で、香長中学校3年の松木琴美さんが200メートル平泳ぎで3位、200メートル個人メドレーで7位入賞と、すばらしい成績を収めました。